

令和 6 年度 第 3 4 回御幸公園梅香事業推進会議 摘録

日 時	令和 6 年 11 月 22 日（金） 14：00～15:00		
場 所	幸区役所 4 階 第 2 会議室		
議 題	1 報告事項 (1) うめかおる 寄附・募金について（総務課） 資料 1 2 審議事項 令和 6 年度 各課事業計画について (1) うめかおる写真展及び川柳コンクールについて（地域振興課） 資料 2 (2) 令和 6 年度観梅会の実施について（企画課） 資料 3 (3) 令和 6 年度観梅会チラシデザインの作品選考について（企画課） 資料 4 (4) 御幸公園施設整備について（道路公園センター） 資料 5 (5) 歴史・文化の伝承に関する取組（生涯学習支援課） 資料 6 3 その他 御幸公園梅香事業の継続について		
出席者	☐委員 幸区町内会連合会 中川 潔 委員長 幸観光協会 加藤 邦彦 副委員長 幸区町内会連合会 岩澤 達夫 委員 幸区町内会連合会 加藤 享 委員 幸区町内会連合会 高橋 吉明 委員 古市場町内会 富永 和吉 (伊東 信子 委員代理) 小向仲野町新生会 平林 吉成 委員 幸区老人クラブ連合会 泉 宣枝 委員 幸区子ども会連合会 神谷 厚子 委員 幸区文化協会 山田 益男 委員 (株)東芝小向事業所 中村 大樹 委員 御幸中学校 吉村 尚記 委員 ☐顧問 幸区長 赤坂 慎一 ☐関係者 副区長 石田副区長 総務課 茂木課長 企画課 塚本課長、林課長補佐 地域振興課 櫻井課長、原田係長 生涯学習支援課 加藤課長 ☐事務局 道路公園センター 沼田所長（事務局長）、村石担当課長、星野担当課長、山口担当課長、浅見課長補佐、中村課長補佐、代田主任、井上職員、中村職員、峯職員		
欠 席	古市場小学校 小碓 早苗 委員 川崎総合科学高等学校 濱野 雄功 委員		
傍聴者	0 人		
決定事項	各課からの審議事項については、審議の結果、承認を得たので、事業計画どおり進めることとした。また、梅香事業推進計画（第 2 期）を令和 7 年度末までに策定することとし、令和 7 年度早々に委員の意見聴取を行うことで決定した。		

(事務局から次の事項を説明し、了承を得た)

- ・ 川崎市審議会等の会議の公開に関する条例における会議公開の対象となっているため、傍聴を許可していること。
- ・ 行政の記録や市政だより等への資料のため、写真撮影及び録音を行うこと。

I 委員長挨拶

本日は御幸公園梅香事業の推進会議にご多忙の中、ご参加いただきありがとうございます。川崎市は、本年市制 100 年を迎え、全国都市緑化フェアも開催されており、梅香事業もその一助となればと存じております。現在は、25 種、約 230 本の梅が植えられており、梅の維持管理も今後の問題となってくるかと存じます。

また、一番大切なのは、幸区民の憩いの場所、心のよりどころとして、この観梅会が継続されること、そして、この事業が幸区のレガシーとなればと存じておりますので、忌憚のない意見をお願いいたします。それではみなさまよろしく願いいたします。

II 議題

1 報告事項について

議題 1 (1) うめかおる寄附・募金について (総務課)【資料 1】

1. 事業報告

- ・ 【資料 1】を説明。
- ・ 幸区民祭でうめかおる寄附・募金のアピール用チラシを作成し、1 万 6 千円が集まった。観梅会においても、同様にチラシを作成し、寄附を募る予定である。

2. 質疑や意見

- ・ 意見等は無し。

2 令和 6 年度 各課事業計画について

議題 2 (1) うめかおる写真展及び川柳コンクールについて (地域振興課)【資料 2】

1. 事業報告

- ・ 【資料 2】を説明。

(1) うめかおる写真展について

・ 梅香事業の御幸公園を梅の名所として復活を目指す取り組みを周知すること、また、梅林のイメージを区民に醸成することを目的として募集する。幸区長賞等の受賞作品については、2025 年さいわいガイドマップに掲載する等活用をしていく。

(2) 川柳コンクールについて

・ 御幸公園の梅林を次世代につなげていくことを目的として、学校教育と連携して取り組んでいく。昨年度から幸区内全 13 の小学校に参加を呼び掛けており、今年度も変わらず募集をする。募集については、小学校への依頼文だけでなく、校長会でも依頼をした。今年度のテーマは、御幸公園の梅林に加えて、全国都市緑化かわさきフェアとも絡めたテーマとして「身近なみどり」等を設定している。

2. 質疑や意見

- ・ 意見等は無し。

(審議事項について)

- ・ 審議事項について、拍手で承認を得る。

議題 2 (2) 令和 6 年度観梅会の実施について (企画課)【資料 3】

1. 事業報告

- ・ 【資料 3】を説明。

(観梅会の期間などについて)

- ・ 観梅会については、令和 7 年 2 月 15 日 (土) の一日イベントと、同 2 月 15 日 (土) から 2 月

24 日（月）に梅林の開放を行う期間イベントを開催する。一日イベントにおいては、会場の配置等について、動線に支障のないように精査をしている。

(① 開会式について)

・総合科学高校デザイン科の観梅会チラシデザイン採用者に加え、梅香ビールラベル採用者への感謝状贈呈も実施する。

(② 植樹式について)

・昨年度は三溪園から接ぎ木した苗木を捕植する移植式だったが、今年度は鴛鴦（えんおう）を新たに植樹する。

(③ 梅鑑賞会について)

・昨年度は参加者が各回 10 人を切っている。人数が少ないこともあり、実施の可否を含めて検討する。

(④ 学習発表について)

・日頃から梅林の維持管理に協力いただいている総合科学高校ボランティア部の成果物の展示に加えて、幸高校で実施している「幸探求」において、御幸公園をテーマとしているチームがあるので、そちらについても、成果の展示等を予定している。展示手法等は関係者と調整中である。

(⑤ 演奏等について)

・地域の文化や伝統芸能を知ってもらう機会であるとともに、地域団体の発表の場でもあり、地域への愛着にも繋がることから、今年度も実施する予定。舞台の位置については調整中だが、来場者に配慮し、グラウンド外野側での実施を検討している。

(⑥ 野点茶会について)

・昨年度は天候が穏やかであったが、天候不良の場合等に配慮し、安全を確保した場所での実施を検討する。

(⑦ 梅の花を活用したレジン作りについて)

・一昨年の区制 50 周年から始まり、好評であることから、今年度についても実施予定である。

(⑧ 球場プレイパークについて)

・昨年度、幸区盛り上げ隊が実施し、好評であることから、今年度についても実施予定である。

(⑨ クイズラリー・梅むすびについて)

・2 月 15 日（土）からの期間イベントであるクイズラリー・梅むすびは、一定の評価があることから、今年度についても実施予定である。

(⑩ 保護策の一部開放について)

・梅を間近で見られるということで一定の評価を得ているので、今年度も実施予定である。

(その他)

・梅にちなんだ和菓子の販売や、キッチンカーを誘致する予定である。また、公園内にテーブルや椅子を配置し、飲食スペースを確保する。

2. 質疑や意見

(野点茶会について)

山田委員 : 野点茶会は総合科学高校の生徒に手伝ってもらい幸区文化協会として助かった。今年度も同様に、手伝ってもらえと考えてよいのか。

林課長補佐 : 今年度も同様に、総合科学高校ボランティア部の生徒に手伝ってもらい開催する予定である。今後、関係者と調整させていただきたい。

(学習発表について)

- 神谷委員 : 幸高校、総合科学高校の催しは展示だけか、それとも発表もするのか。
- 林課長補佐 : 昨年度は、パネルにまとめてもらい、グラウンドのフェンスに展示した。今年度については、現在調整中である。
- 事務局 : 総合科学高校のボランティア部は、山田委員の話にもあったが、野点茶会も含めて、観梅会の手伝いをしている。展示するパネルに加えて、それ自体が発表であると考えている。幸高校については、企画を現在検討中である。

(来場者数・広報等について)

- 副委員長 : 前年度の来場者数と広報関係がどうなっているのかを聞きたい。今年度はどれくらいの来場者数を想定しているのか。
- 林課長補佐 : 昨年度の来場者数は約 2,300 名である。広報は、区町連を通じて、各町会に回覧・掲示を依頼しているところ。令和 7 年 1 月に報道発表を予定しており、幅広く来場いただければと考えている。御幸公園を知ってもらうために、幅広く広報周知をしていきたい。
- 副委員長 : 来場者数の目標を数字としてはどうするのか。目標を設定すれば、それに向かって動いていくので、意識も変わってくる。御幸公園は、幸区の大きな公園であり、川崎市全体に周知し、いい公園であることをより知ってもらい観光資源としたい。川崎市全体から来るとなると、御幸公園に駐車場がないということもあり、難しい面もある。観梅会は大きいイベントなので、行けるなら行きたいという方たちが、かなりいるのではないかな。
- 事務局長 : 毎回、広報活動の方法については意見がある。御幸公園の良さを知ってもらうことについては、ホームページ・SNS を含めて、発信をしていきたいと考えている。来場者数の目標は、昨年度以上に多くの方に来場いただきたいと考えている。
- 委員長 : You テレビやタウンニュースは、イベントが実施された記事は載るが、実施前に広報できたらよいのではないかな。また、市政だより等の広報媒体については、有効活用していかなければならないと考えている。観梅会については、風が強いところなので、式典・行事の場所はうまく移動できるように考えていただきたい。梅香ビールは、飲みやすくおいしいという評判である。梅だけでなく名産品として梨もあるのだから、多くのクラフトビールを作ってもらい、広報してもらいたい。ビールだけではなく、和菓子も作ってもらっており、梅香事業を通して、ひとつひとつのつながりができてくると、よりよいのではないかな。遊び心というのも大事な要素である。

(梅香ビールについて)

- 副委員長 : 梅香ビールは、御幸公園の梅を使っているのか。
- 事務局 : 梅については、花の生育のために実を取る必要があるため、今年 5 月に御幸公園で実を収穫し、その時の梅を使い、東海道 BEER にビールを醸造してもらった。また、総合科学高校の生徒には、ビールのラベルを作成していただいた。梅香ビールは、「さいわいにぎわいフェス」で販売をして好評だった。中川委員長にもおっしゃっていたが、和菓子も含めて、観梅会のチラシに掲載する等、広報についても工夫していきたい。
- 副委員長 : 年間を通しての生産は難しいのか。例えば、ビールの広報活動をする際に、ビールが無くなってしまえば、その活動はそれで終わってしまう。年間を通しての販売であれば、ここでこういうものを作っているということをよりアピールできる。御幸公園以外の梅を使ってビールを醸造するというのも、収益の問題もあるだろうが、考えてもらいたい。
- 事務局 : ご意見を踏まえ、あらゆる手段を考え、事業に活用できるように取り組んでいきたい。

(観梅会への意見)

- 平林委員 : 皆さん個別によくやっていたらしゃるが、何か足りないというような気がする。年々、寄附が減ってきているという傾向もある。個々で様々な事業に取り組んでいるが、視

点を変えてやらないと、2月に観梅会を実施して終わりというだけではもったいない。御幸公園の野球場は知っているが、梅林は知らないという方がいらっしゃる。「観梅会」という言い方も、少し固めな言葉である。視点を変えて実施すると、もっと素晴らしいものになるのではないかな。

先ほど、委員長がおっしゃったように、遊び心というのが欠けているように感じる。幸区にはさまざまな素晴らしいものがある。東芝があり、バスケットコートもある。ゴルフ場もあり、多摩川がある。東芝には科学未来館もある。例えば、楽しい梅林にするにはどうすればよいか。様々な資源があるのに、活用できないのはもったいない。遊び心を持って実施するとすれば、イベントの期間中に集中して、ソフトボール大会、ウォーキングの催し、グラウンドゴルフ大会等、町全体の催しとして実施したらよいのではないかな。

委員長：ご意見ありがとうございます。次回に向けて検討していただければと思う。

(開会式について)

中村委員：今年度は、開会式の場所に変更されるのか。前年度は、表彰式の際に、その前を横断する方がいるということが生じた。

事務局：昨年度は、道を迂回させてしまう等、お手間をかけたので、場所は検討中である。

(キッチンカーについて)

中村委員：キッチンカーはどういうものを誘致されるのか。

林課長補佐：暖かい食べ物を考えている。なるべく多くの人に来場してもらえるように、現在、調整中である。

中村委員：昨年度は、キッチンカーを利用される方が結構いらしかったということか。

林課長補佐：その通りである。

中村委員：承知した。

(審議事項について)

- ・審議事項について、拍手で承認を得る。

議題2(3) 令和6年度観梅会チラシデザインの作品選考について(企画課)【資料4】

1. 事業計画(案)等の説明

- ・【資料4】を説明。
- ・総合科学高校デザイン科から、観梅会のチラシデザインを募集した。6作品の応募があった。
- ・委員の無記名投票にて、観梅会のチラシデザインを決定する。
- ・欠席された委員については、事前に票をお預かりしている。

2. 投票の結果について

作品	①	②	③	④	⑤	⑥
得票数	1	0	6	4	4	0

- ・委員投票により、観梅会のポスターは③で決定した。

議題2(4) 御幸公園施設整備について(道路公園センター)【資料5】

1. 事業計画(案)等の説明

- ・【資料5】を説明。

(御幸公園の梅林整備について)

- ・梅林にはロープ柵が無い部分があるため新設し、破損部分については補修を実施する。公園内で育てている苗木を、梅林に植え替える予定である。新たに鴛鴦(えんおう)を植樹予定である。

(梅の生育状況について)

・令和6年10月17日(木)に梅林の約236本を梅香サポーターと調査し、異常はなかった。梅林内に薬剤、肥料を撒く委託の効果であると考えている。枯れや葉がついてない梅が10本ほどあったので、適切に対応をしたい。また、品種名のラミネートが半数ほどついていない状況なので、新設等を検討している。

(梅林の啓発看板の設置について)

事務局 : 前回の梅香事業推進会議で、委員から提案のあった看板の設置について、啓発、アピールに向けて、様々な手法を検討中である。

2. 質疑や意見

(梅香サポーターについて)

神谷委員 : 10月17日(木)に梅香サポーターと調査を実施したということだが、近所ではない方も参加していると考え、梅サポーターの人数がなかなか増えないという実情があると思う。地域でこういう活動をしている等、広報、アピールをしていかなければいけないのではないかな。

事務局 : 梅香サポーターについては、昨年度ユニフォームを作成し、活動中は着用してもらい、梅香サポーターの存在を知ってもらっている。今年から、年4回程の会合を開いている。昨年度と比較して、梅サポーターは5,6名増えており、着実に増加していると考えている。今年度も引き続き、梅サポーターの普及啓発活動に取り組んでいきたいと考えている。

神谷委員 : それでは引き続きよろしくお願いいたします。

(審議事項について)

・審議事項について、拍手で承認を得る。

議題2(5) 歴史・文化の伝承に関する取組(生涯学習支援課)【資料6】

1. 事業計画(案)等の説明

・【資料6】を説明。

(文化の伝承・講座について)

- ・今年度は、文化の伝承に関する取組みとして、華道の世界に広がる豊かな芸術文化を通して梅の花や木に親しむ講座を実施する予定である。
- ・梅の花にまつわるお話や講師によるデモンストレーション、生け花体験を通じて梅の花や木などの自然に親しむ。観梅会の時期に合わせて実施することで、梅香事業全体への関心を高め、地域への愛着と誇りを育むきっかけとしたい。

(幸図書館との連携について)

- ・幸図書館職員とも連携し、講座に合わせて図書館に特設コーナーを設置する予定である。

2. 質疑や意見

意見等無し。

(審議事項について)

・審議事項について、拍手で承認を得る。

III その他

御幸公園梅香事業の継続について(道路公園センター)

1 御幸公園梅香事業の継続について

- ・その他資料により説明。
- ・御幸公園梅香推進計画に基づき、平成27年度から区民・企業等のみなさまから協力を賜りながら様々な取り組みを実施してきた。この推進計画では、令和7年度までを期日として、7つの基本

目標と 20 の実施計画を推進することとしているため、令和 7 年度末に課題・問題点や達成状況の確認などの事業評価を実施する。また、20 の実施計画の中には、梅林の復活のように、目標を達成したものの梅林の適切な保全に向けた区民との協働作業など、未達成な項目があることや、区民に好評なイベント等もあることから、事業を終結させるのではなく、改めて、より区民に愛され、親しまれるような観点で、既存事業を取捨選択するとともに、摘果イベント等の新たな事業を含めた第 2 期推進計画を令和 7 年度末までに策定したいと考えている。先ほど平林委員からも話があったが、区民の皆様が親しまれるように新たに事業の方針を決定していきたいので、よろしくお願いいたします。

(第 2 期計画の実施期間について)

山田委員 : 梅香事業推進事業計画は 10 年間の計画であったが、第 2 期も同じくらいの実施期間を考えているのか。

事務局 : 行政側としては行政計画と同等の期間として、おおよそ 10 年を目安として検討をしていきたいと考えている。

(事業の継続について)

- ・事業について継続をする方向で、拍手で承認を得る。

2 顧問挨拶

梅林が 10 年で復活できてよかったというのが率直な感想である。幸区という名前も、明治天皇の御幸公園への行幸から付けられている。御幸公園の梅林の復活を成し遂げ、その梅林をいかに活用して、地域の賑わい、文化・人々の交流、観光等でも御幸公園を利活用していくことが大事である。引き続き、委員の皆様のご協力をいただきながら、より一層地域の財産として磨きをかけていきたい。皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

3 第 3 5 回御幸公園梅香事業推進会議の開催予定

事務局 : 次回の御幸公園梅香事業推進会議は、令和 7 年 2 月 15 日（土）の観梅会をもって開催いたします。

以上